

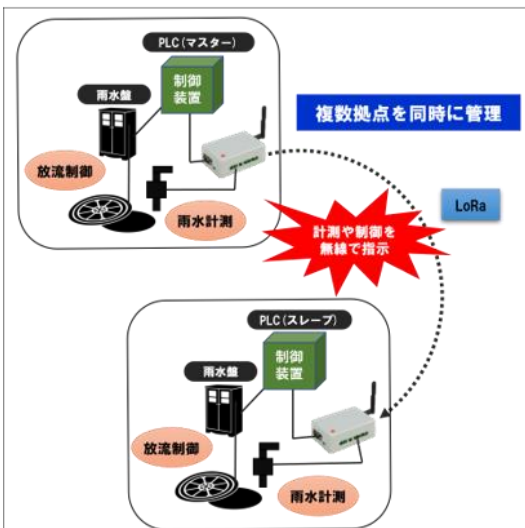
## 多数点の雨量・流量をまとめ無線監視・制御『適時・適正な雨水放流』

### ■課題

日本では、生活排水と雨水を同じ下水道に放流することが多く、その場合まとめて下水処理場で処理し、河川に放流しています。ところが、雨量が多くなると処理が追い付かず、不十分な状態で放流してしまうこともあります。そのため、雨水を一旦溜めておき、下水道に放流する量を調整することが重要になってきます。

### ■概要・期待効果

マスター監視装置(PLC)で収集している雨量および流量センサーのデータを取得し、必要に応じて雨水放流の制御も行います。LoRa 通信を用いることで PLC を無線化。配線不要かつ低予算で多数点からのセンサーデータ取得と放流制御も可能になります。マスター監視装置 1 台で多数点を管理させることで全体の総放流量も把握・調整できるようになります。



### [使用機器・サービス]

- 雨水流量センサー
  - ・ 雨水流量データを取得
- SpreadRouter-MW
  - ・ 雨水流量取得や放流制御の指示を LoRa 通信で送信
  - ・ PLC を無線化
- IoT センサーパック
  - シリアル透過モード